

標 題 く に び き 農 産 物 産 直 コ ー ナ ー の 新 規 会 員 研 修 会 を 開 催

(ダイジェスト)

12月4日(水)、JAしまねくにびき地区本部において「くにびき農産物産直コーナー出荷者協議会の研修会」が開催されました。

研修会には15名が参加し、協議会員の遵守すべき事項、食品表示の基礎等の説明が行われました。農業普及部からは農薬の取り扱いについて講義をし、美味しまね認証上位認証の啓発及びGAPについてのアンケート調査を実施しました。

くにびき農産物産直コーナー出荷者協議会(会員1260名)は、JAしまねくにびき地区本部の直営3店とインショップ8店、合計11店舗で産直販売高6億3000万(H30年度)を上げています。農業普及部としては産直GAPの推進など、多様な担い手の確保・育成の一端を担う場として支援を行っています。

今回の研修会には新規会員15名が参加し、JAから協議会の概要等の説明があった後、普及部からポジティブリスト制度や生産履歴の必要性、野菜・果樹栽培等を行うにあたって理解しておくべき農薬関連事項、美味しまね認証について解説しました。

参加者からは、具体的な作物名を挙げながら農薬の使用方法などについて質問が出ました。また、その場で登録内容やRACコードを調べる等、生産者の意欲の高さが窺えました。

なお、農業普及部としては、様々な機会をとらえて農薬使用に関して正確な情報を提供し、生産者自身の安全は勿論、生産物の安全性・信頼度をさらに高めて有利販売に繋げていくとともに、産直会員の更なるレベルアップを図りたいと考えています。

特にGAPについては、実施したアンケート結果より、参加者の約半数が取り組みたいと考えていることが分かりました。今後多くの生産者に取り組んでもらえるよう、関係機関と連携しながら啓発活動を実施していきます。

